

●奈良教育大学 名誉教授  
岩本廣美



別冊ポスターと合わせてご覧ください。

# 「日本をながめてみよう」の 特色と活用

小学校での地図学習で大切なことのひとつが、日本全体に目を向けながら、領土、自然、産業などさまざまな視点で地図を見ていくことです。こうした学習のために最も基礎となる日本地図が、『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』(以下、地図帳) p.4~6にかけての「日本をながめてみよう」です。ここでは、美しい色彩のこの日本地図のねらいや特色、そして活用のしかたについて具体的に述べていきます。

## 「日本をながめてみよう」の特色

この地図は、日本列島および周辺の自然、特に地形のあらましを簡潔に表していることが大きな特色です。実際の日本の国土には、農地や市街地・工場用地などの人工的要素がありますが、これらをすべて取り除き、自然的要素だけに特化させて描いています。記載する地名は精選し、緯度・経度は入れていません。この地図を置いたねらいは、**自然豊かな美しい日本列島のイメージを児童につかんでもらうこと**です。

この地図には凡例を設けていませんが、陸地の自然的要素として描いたものは、山と平地のほかに、水系としての主な川と湖です。山のうち富士山や阿蘇山など特徴のあるものは、やや目立つようにイラストで表現しています。また、標高が比較的高いところは緑色を濃くして影もつけ、高い山であることをイメージしやすいように表しています。山以外の陸地はすべて黄緑色で表した平地です。ただ、平地とはいっても、実際には台地や急な崖などもある点は留意が必要です。海については、比較的浅いところを薄い水色で表したほか、海溝の存在を表す工夫もしています。

今号の別冊ポスターには、「日本をながめてみよう」を拡大した地図のほかに、日本の自然を代表する風景の写真を7枚載せました。

## 「日本をながめてみよう」の活用

この日本地図がもっとも活躍するのは、第5学年「我が国の国土」に関する大単元です。

児童がこの3ページ大の日本地図を開いたら、まずは、①自分自身のいるところ、すなわち**学校の位置**を指で差し示すよう促してみましょ。次に、②この指を地図上で動かして、日本列島を構成する島々のうち、**北海道、本州、四国、九州、南西諸島**のそれぞれの文字を、声を出して読み上げながら、指でなぞらせてみましょう。また、③これらの島々を囲む海の**太平洋、日本海、東シナ海**、さらには、南西諸島西端の与那国島のように、**国境に近い島々**も指でなぞらせてみましょう。こうして、児童が日本列島の輪郭をつかめたら、富士山など日本各地にある**特徴のある山**を探して、同じように指を当てさせてみましょう。

このような、指を使って地図を読む活動を通して、児童が日本列島の自然の様子をおおよそ把握できるようになることが期待されます。しかし、これにとどまることなく、児童がこうした活動を通して、把握した日本列島の自然に対していっその関心や疑問を持つことが大切です。日本で最も高い山はどの山だろう、日本で最も大きな湖は何という名前なのかといった関心や疑問を児童が持つことは学習の発展を意味します。その際、児童には、p.87「日本の自然のようす(1) 地形」をはじめとする地図帳の他のページを見るように示唆してみましょう。こうした経過を経れば、本

ページで紹介している二つのワークシートを活用した学習にも無理なくつながっていくと期待されます。地図の学習は、「日本をながめてみよう」からさまざまな方向に発展していくのです。

\* \* \*

「日本をながめてみよう」の地図を通して、また、別冊ポスターやワークシートなども活用した学習によって、児童が地図を読むことへの興味・関心を高め、日本列島の自然に関する理解を少しでも深めてくれることを願っています。

使用地図帳：令和2年度版「楽しく学ぶ小学生の地図帳」

日本の地形①

おもな山地・山脈・高地

年 組 番

名前

●地図帳 p.87 ページ 1 さまざまな地形（模式図）を参考にして、（ ）にあてはまる語句を書きましょう。

○山が別のように集まったところを（ ）といいます。

○山が集まったところを（ ）といいます。

●地図の 0-0 は、日本のおもな山地・山脈・高地を表しています。地図帳 p.87 ページ 2 地形のようすを参考にして、下の 0-0 の  に、おもな山地・山脈・高地の名前を書きましょう。

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td><td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">8</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">12</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">13</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">14</td></tr> </table>	1	8	2	9	3	10	4	11	5	12	6	13	7	14	
1	8														
2	9														
3	10														
4	11														
5	12														
6	13														
7	14														

2023年10月作成

使用地図帳：令和2年度版「楽しく学ぶ小学生の地図帳」

日本の地形②

おもな平野

年 組 番

名前

●地図帳 p.87 ページ 1 さまざまな地形（模式図）を参考にして、（ ）にあてはまる語句を書きましょう。

○（ ）に面した平地を平野といいます。

●地図の 0-0 は、日本のおもな平野を表しています。地図帳 p.87 ページ 2 地形のようすを参考にして、下の 0-0 の  に、おもな平野の名前を書きましょう。

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td><td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></td></tr> </table>	1		2		3		4		5		6		7		
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															

2023年10月作成

### ワークシート①②

ワークシート①「おもな山地・山脈・高地」の進め方は、まず、地図帳p.87「1 さまざまな地形（模式図）」の説明を見て、山地・山脈とは何かを説明する箇所の（ ）内に語句を記入するとよいでしょう。次に、地図帳p.87「2 地形のようす」を見ながら、①から⑭の  に山地などの名称を記入するとよいでしょう。地図帳p.87 2の地図では立体的に描かれている山地などが、ワークシートでは太い線で描かれていますので、戸惑う児童もいるかもしれませんが、地図上の位置をよく見れば対応関係がわかるようになります。日本の山地などは、①から⑭のほかにもありますが、このワークシ

ートで全国の主要なものは把握することができます。

ワークシート②「おもな平野」の進め方も、①と同じです。ここで、地図帳p.87 2の地図では平野の広がる範囲を示していませんが、ワークシートでは線と黄緑色でおおよその広がりを示していますので、両者の表現の違いに注意しながら、作業を進めるとよいでしょう。

#### 注目!

別冊ポスター「日本をながめてみよう！」のA3判PDF、ワークシートのA4判PDFデータを、[帝国書院ウェブサイト](https://www.teikoku-shoten.com/)に掲載しています。ぜひご利用ください。



Webサイトはこちらから